

**情報盤
ATFタイプ
施工・取扱説明書**

施工編

取扱編



目次

施工編

掲載ページ

1. 外形および各部名称	1
2. カバーの開閉方法	2
3. 壁面取付手順	3
4. TVケーブル結線方法(TV機器付の場合)	4
5. LAN接続方法	5
6. TELケーブル接続方法(マルチメディアパネルM4/M8)	6
7. 電源接続、アース端子接続方法	7
8. 機器転倒防止バンパー取付方法	7
9. 内蔵機器の取付方法について	8-10

取扱編

掲載ページ

1. 情報配線システムについて	11
2. 機器接続手順	12
3. 接続上のご注意	13
安全上のご注意	14
製品保証書	14

設置場所について

- 本製品は、メンテナンスしやすく、配線効率の良い住宅の最上階の納戸等に設置することをおすすめいたします。
- テレビやラジオなどの家電製品が置かれた所には設置しないでください。受信障害や通信障害の原因になる可能性があります。

施工事業者様へ

- 本製品の施工には、電気工事士の資格が必要です。
- 本製品の施工前に必ずこのマニュアルをお読みください。

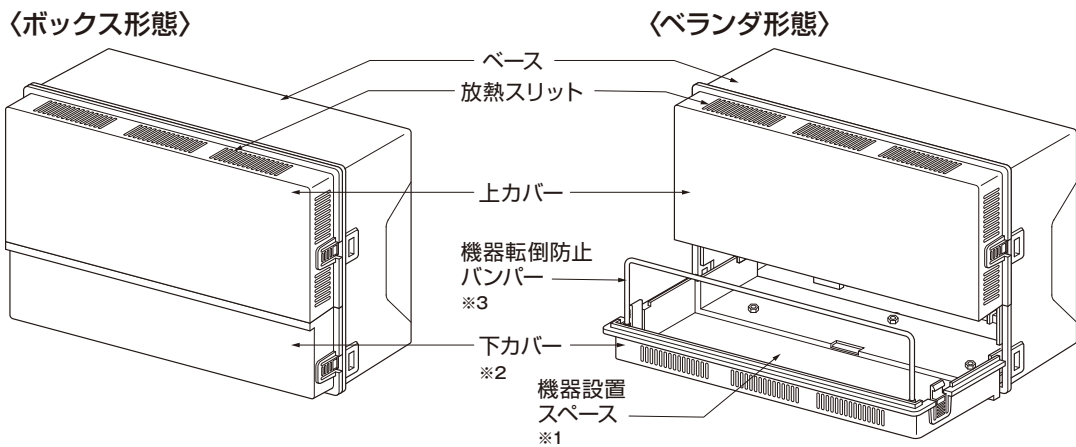
因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部

ATF-施取-23-0

※あらかじめ「安全上のご注意」(P14)をご確認ください。

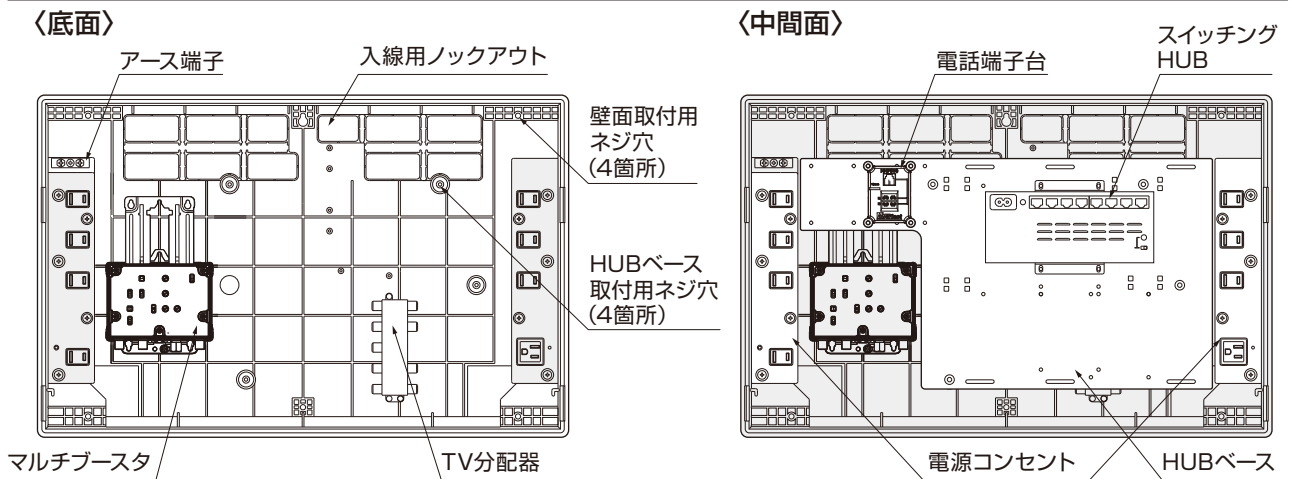
1 外形および各部名称

外部

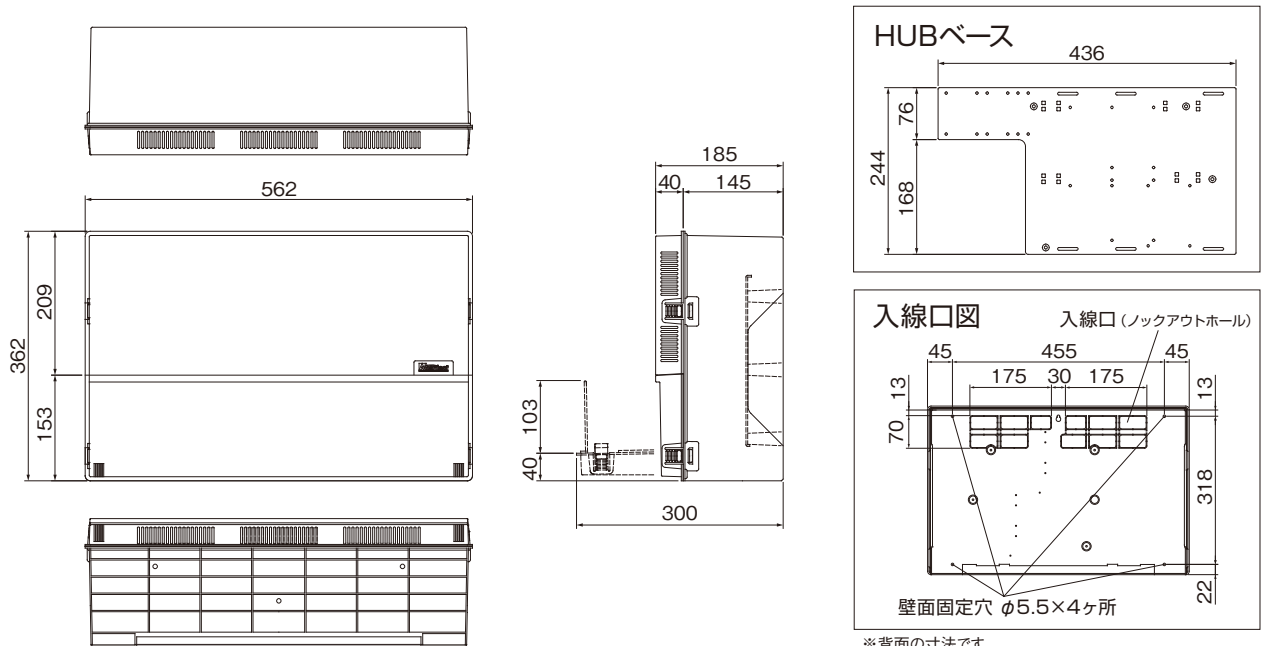


- ※1: ボックス形態の際は、機器はベース部への取り付けとなります。
- ※2: ベランダ形態の際は、下カバーを反転させてベース部に差し込んで使用します。
- ※3: ボックス形態の際は、ボックス内部に固定して使用します。

内部 ※下図の設置内容および取付位置は一例です。



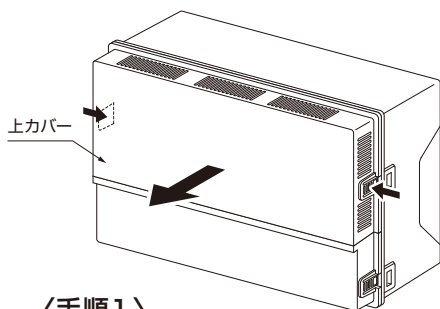
外形寸法 (mm)



※背面の寸法です。

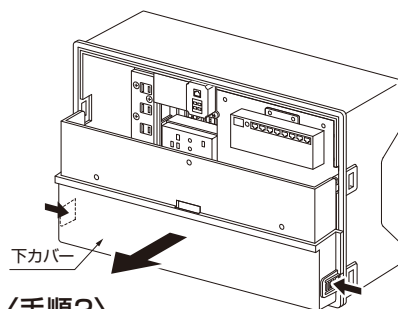
2 カバーの開閉方法

カバーの開け方



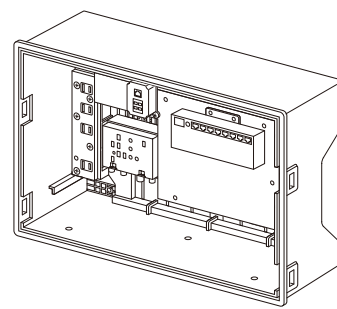
〈手順1〉

上カバー両横を押しながらか手前に引き、外します。



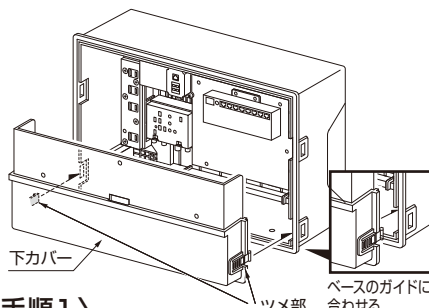
〈手順2〉

下カバー両横を押しながらか手前に引き、外します。



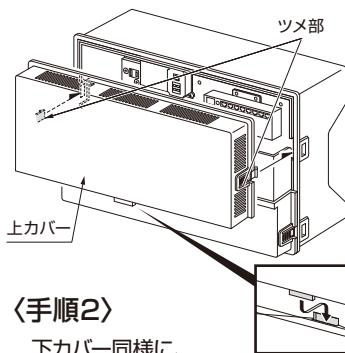
※下カバーを外す際、内部機器の落下等にはご注意ください。作業の間、カバーは上下とも、一時的に別の場所に保管してください。

カバーの閉じ方① ボックス形態の場合



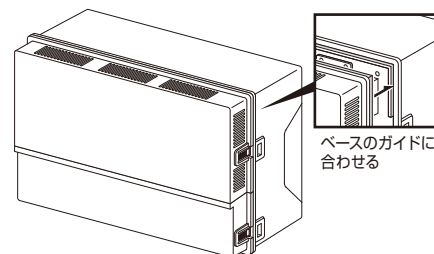
〈手順1〉

下カバーをベースのガイドに合わせながら押し当て、確実に外れなくなるのを確認してください。



〈手順2〉

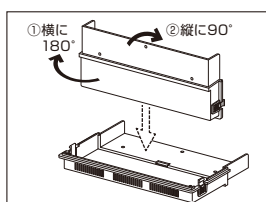
下カバー同様に、上カバーもベースに取り付けます。



〈手順3〉

最後にベースとカバー上下がぴったりと合わさって外れないことを確認してください。※カバー上下は、中心のガイドに合わせることでズレが無くなります。

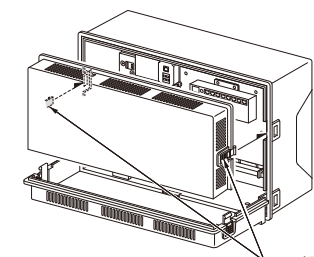
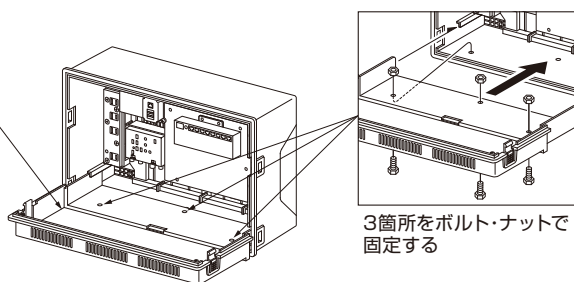
カバーの閉じ方② ベランダ形態の場合



スリットが手前にくるように下カバーを回転し、ベース部に取付ける

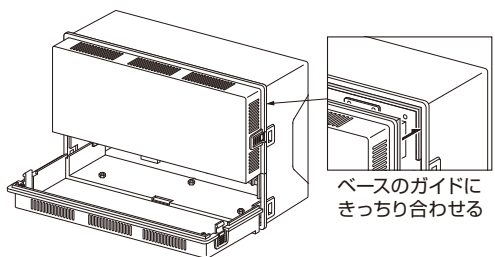
〈手順1〉

下カバーのフチの無いほうをベースに差し込むことでベランダ形態として使用できます。下カバーを外した状態から横に180°反転し、縦に90°寝かせた向きにし、ベース内部のガイドに沿わせながら行き当たるまでゆっくり差し込みます。



〈手順2〉

上カバーを取り付けます。



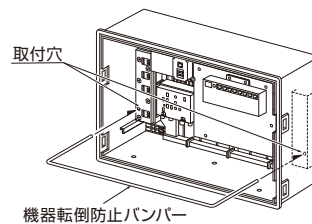
〈手順3〉

ベースのガイドに合わせながら押し当て、確実に外れなくなるのを確認してください。※上カバーは、ベースのガイド部にきっちり合わせて閉じてください。

機器転倒防止バンパーの取付け方

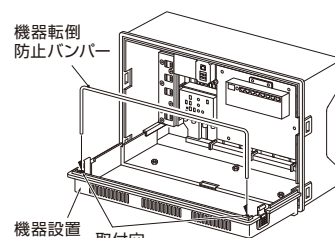
〈ボックス形態〉

ベース内左右電源ユニット部分にある固定穴に差し込んでください。



〈ベランダ形態〉

下カバー左右コーナー部分にある固定穴に差し込んでください。



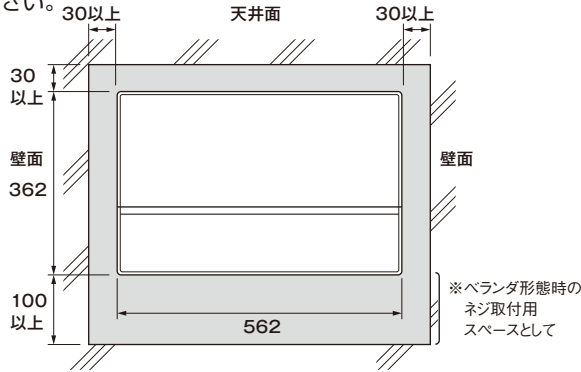
※容易に抜けないよう、しっかりと固定されていることを確認してください。

3 壁面取付手順

設置スペース・必要クリアランス

(単位:mm)

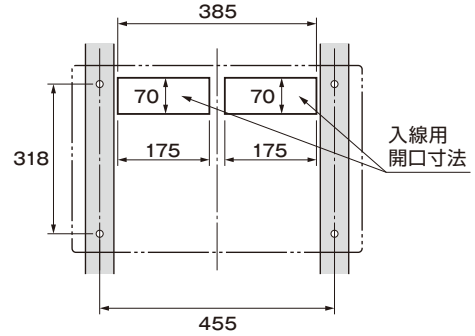
ボックスの取り付け位置は、カバーの開閉や内蔵機器の放熱を考慮し、天井面から30mm以上、左右壁面から30mm以上、床面もしくは棚から100mm以上、クリアランスを確保できるよう設計してください。



下地・ネジ止め位置

(単位:mm)

ボックスの固定は上下左右4点を壁面へのネジ止めで行います。芯々455mmで下地を用意してください。背面からのケーブル入線口は、図の寸法位置を参考に開口してください。



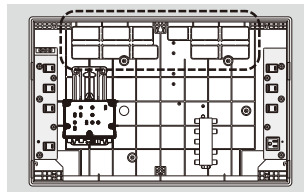
入線用ノックアウトの加工方法

入線用のノックアウトは、必要本数に応じて開口できます。必要部分を、ニッパーで切断して開口部を確保してください。ノックアウト間も切断することで、開口部を拡大してご利用も可能です。

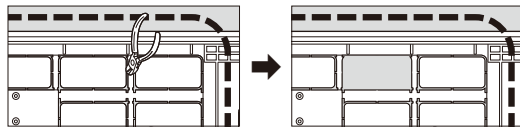
■標準開口手順

上下左右の連結部分をニッパーで切断し開口します。切断面にバリが残らないよう処理してください。

ノックアウト

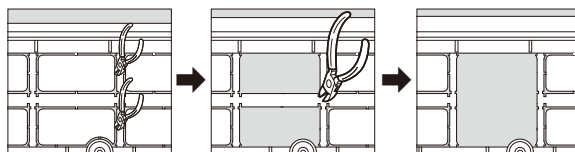


ノックアウト部拡大

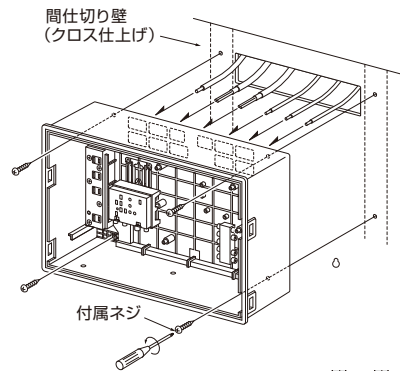


■拡大開口手順

対象のノックアウトを開口した後、ノックアウト間部分も同様にニッパーで切断して拡大してください。

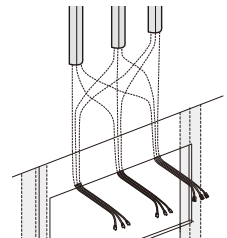


線の引き出しと壁取付



開口したノックアウト部からケーブル類を引き出し、下地準備した設置位置に上下左右4箇所ネジ止めで設置固定してください。

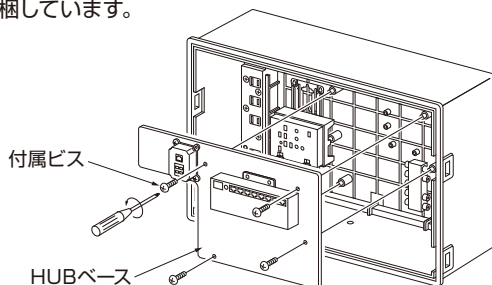
※情報盤内に引き出すケーブルは最小限とし、余剰分は壁内にて調整してください。



- ⚠ 注意**
- 木ネジ固定部に、材木等がない場合、必ず補強下地を入れてください。
 - 取り付け壁面は必ず平面であることを確認してください。平面ではない壁面に取り付けますとカバーが開まらない場合があります。
 - ボックス内は内部機器やネットワーク機器を収容するスペースですので、ケーブルの余長でボックス内が占有される事の無い様に施工してください。

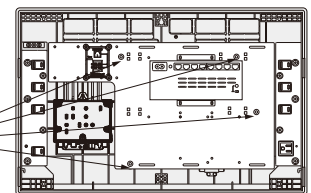
HUBベースの取付方法

HUBベースは、4箇所の固定ネジによって着脱可能です。底面設置のプースタ分配器への同軸ケーブル配線接続後、HUBベースを取り付けてください。取付ビスは説明書内に同梱しています。



※取り付ける際は、HUBベースが脱落しないよう、4箇所のネジを確実に締めてしっかりと固定してください。

固定ネジ穴

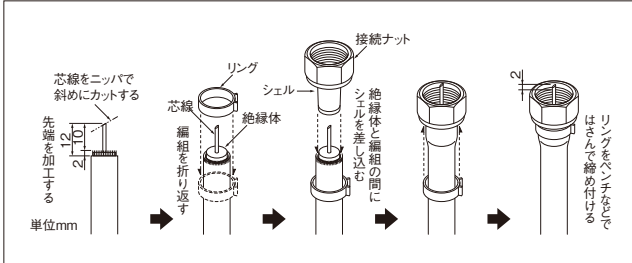


- ⚠** HUBベースを取り付ける場合、インパクトドライバーは使用しないでください。HUBベース取付用ネジ穴の支柱部分を破損する恐れがあります。

4 TVケーブル結線方法(TV機器付の場合)

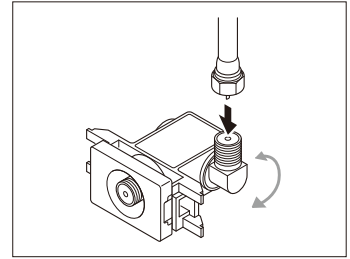
同軸ケーブル(S-5C-FB)へのF型接線 結線方法

同軸ケーブルの接続施工は、下図のように行ってください。
 ※同軸ケーブルの先端加工をする場合、芯線・編組を傷つけますと断線の原因となります。
 また、芯線と編組は絶対に接触しないようにしてください。



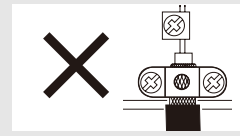
TV端子の接続

コンセント側のTV端子に同軸ケーブルを接続します。接続箇所は角度調整が可能です。



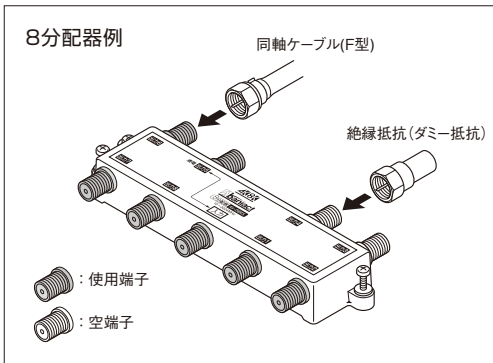
⚠ 注意

末端側の同軸ケーブル接続の際、オームバンドは使用しないでください!

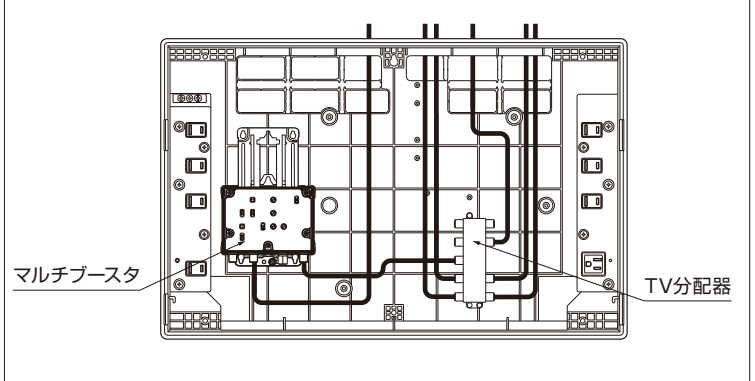


TV分配器の接続

必ず、TV分配器の空端子には絶縁抵抗(ダミー抵抗)を接続してください。



同軸取り回し例



マルチブースタへの接続方法(ブースタ搭載機種の場合)

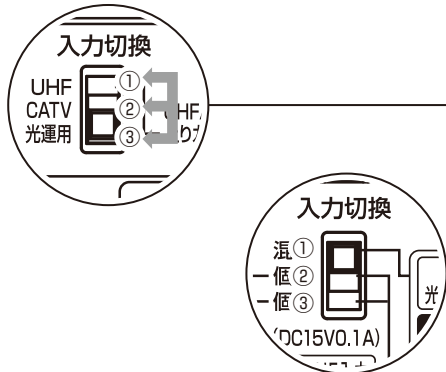
マルチブースタの設定に必要な基本項目です。

※詳細は付属のブースタマニュアルをご参照ください。

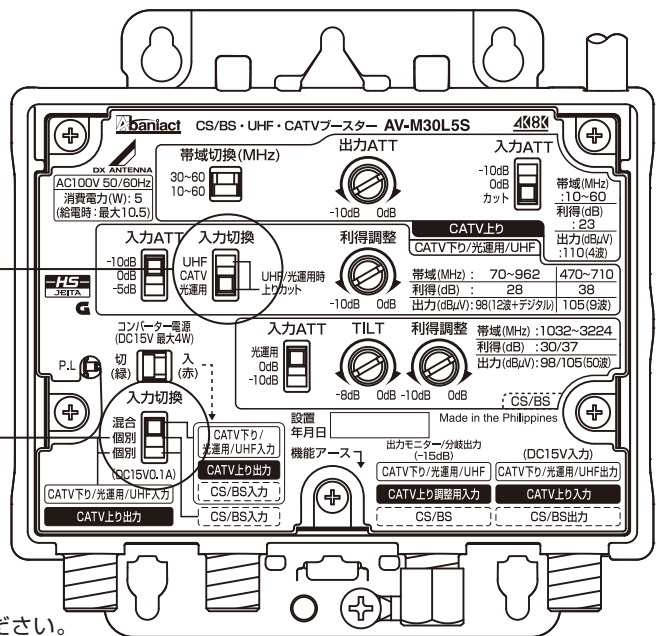
地上波の受信手段によってスイッチを切り替えてください。

- ① : UHFアンテナ
- ② : CATV
- ③ : 光運用【FTTHサービス】

※記載のイラストは品番AV-M30L5Sのものとなります。



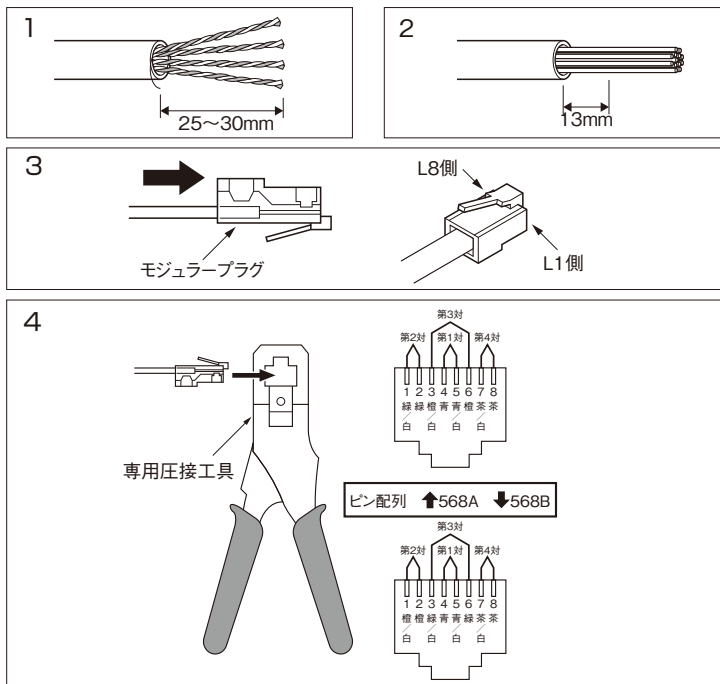
地上波とBS/CSの入力は、混合入力が別入力かで、スイッチの上下を切り替えてください。



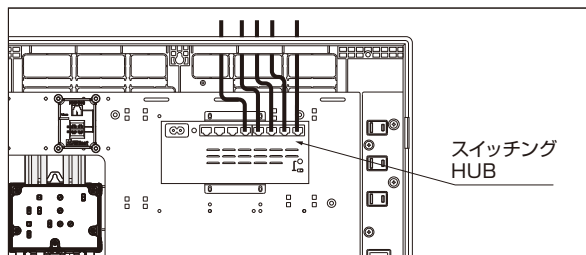
5 LAN接続方法

LANモジュラージャック加工方法 (Cat5eの場合)

1. ケーブルの被覆を約25mm～30mm剥ぎます。
※芯線にキズを付けないようにしてください。
2. 芯線の撚りをもどし、シースの端から13mm残して切断します。
※ケーブルの残しは13mm以上にも以下にもしないでください。
3. ケーブルの先端の色線を以下のように一列に揃え、モジュラープラグの先端に突き当たるまで挿入します。
※ケーブル色線配列は568Aと568Bの2種類があります。
必ず情報コンセント側の結線と合わせてください。
4. ケーブルが挿入されたモジュラープラグを専用の圧接工具にて圧着します。
※ケーブルがプラグ先端まで突き当たり、抜けないようにしっかり圧着されていることを確認してください。



LANの接続方法



スイッチングHUBを使用する場合は、加工したLANケーブルを接続してください。

6 TELケーブル接続方法（マルチメディアパネルM4/M8）

お客様の電話・インターネット利用のご要望が分かっている場合は、ご利用状況に合わせて接続してください。
不明の場合は①加入電話回線で接続してください。

注 加入電話回線を解約して、光電話もしくはIP電話に変更される場合は、マルチメディアパネルに接続されているモジュージャックの引き込みを②光電話（CATV・IP電話）に差し替えてください。

マルチメディアパネル（Mシリーズ）の場合

各部の名称

4分岐仕様 **MMP(M4)** 8分岐仕様 **MMP(M8)**

端子結線図

マルチメディアパネル（M4）

マルチメディアパネル（M8）

端子極性図

配線接続は上下でー対となります。

< MMP (M4) >
L1: [Diagram of L1 terminal]
L2: [Diagram of L2 terminal]

< MMP (M8) >
L1: [Diagram of L1 terminal]
L2: [Diagram of L2 terminal]

注 配線接続は上下でー対

①加入電話（アナログ）

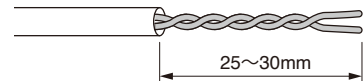
②光電話（CATV・IP電話）

施工編

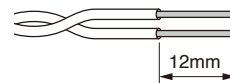
取扱編

ケーブル結線方法

- ケーブルシースを25～30mmカットします。
※使用可能ケーブル Cu（銅）単線 導体径：φ0.4～φ0.65
注 電線を傷つけないように注意してください。

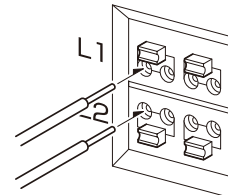


- ケーブル先端を12mmストリップします。
※マルチメディアパネルの正面にあるストリップゲージを使用できます。
注 ストリップ長が短すぎる場合、導通不良のおそれがあります。
注 ストリップ長が長すぎる場合、回路間のショート、露出部腐食のおそれがあります。



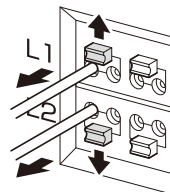
- マルチメディアパネルにケーブルを結線します。
ケーブル挿入の際、ケーブルの色とクランプ端子の関係は以下になっておりますので必ず確認してください。

L1側	シロ/アオ
L2側	アオ



ケーブルの外し方

- リリースボタンをマイナスドライバー等で押し下げてください。
ケーブルを引き離すことができます。
- 注** ケーブルリリース時は強く押しすぎないようにしてください。
 - 注** リリースボタンが壊れるおそれがあります。



リリースボタン
(押下力:約12N)

7 電源接続、アース端子接続方法

電源差込コネクタへの結線方法

1. ACユニット左側上部の各線にコネクタが接続されていることを確認します。

白・黒	電源
緑	アース用

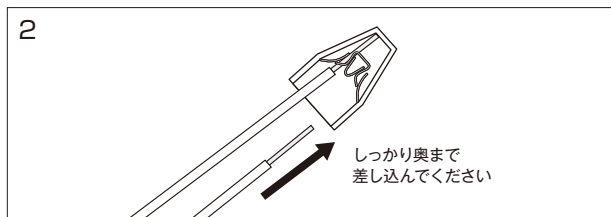
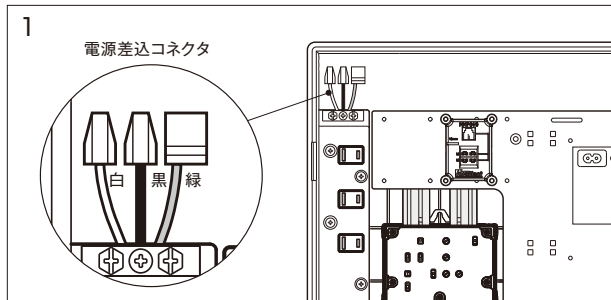
2. 電源線の被覆を剥ぎ、同色の各線を、差込みコネクタを利用して結線します。

- ① 電線の被覆を12mm～13mm剥ぎます。
- ② 差込みコネクタへ、1本ずつ突き当たるまで差し込んでください。
- ③ 電源が奥まで入っているか、目視で確認してください。



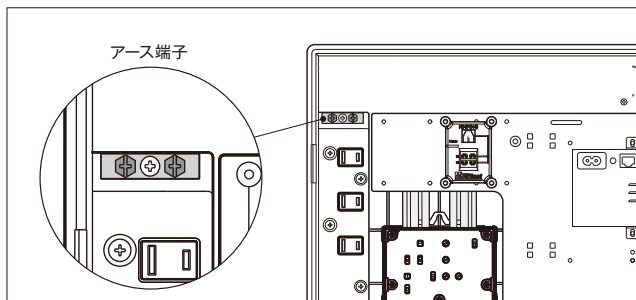
・芯線に傷をつけないようにしてください。
→対応電線: Cu線 Φ1.6、Φ2.0
・差込みが不十分だと発熱する恐れがあります。

3. 確実に結線された事を確認した上でボックス内へ取めます。
(お客様の手に触れないよう、しっかりと取めてください)

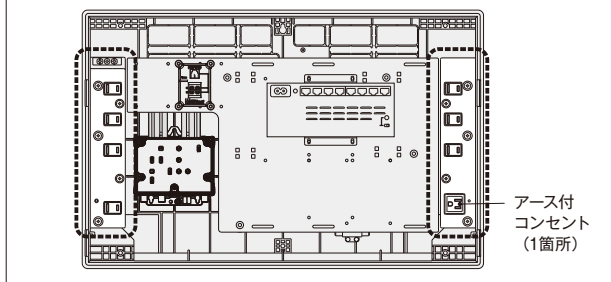


アース端子 (ACユニット左側) への結線方法

アース線を接続する必要がある機器は、必ず電源差込コネクタ(緑)と、ACユニット左側上部のアース端子との結線が必要です。



電源をつなぐと、8箇所すべてのコンセントを使用することができます。

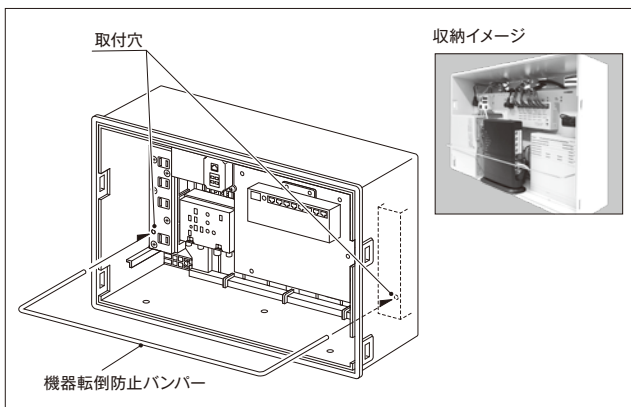


8 機器転倒防止バンパー取付方法

機器転倒防止バンパーの取付

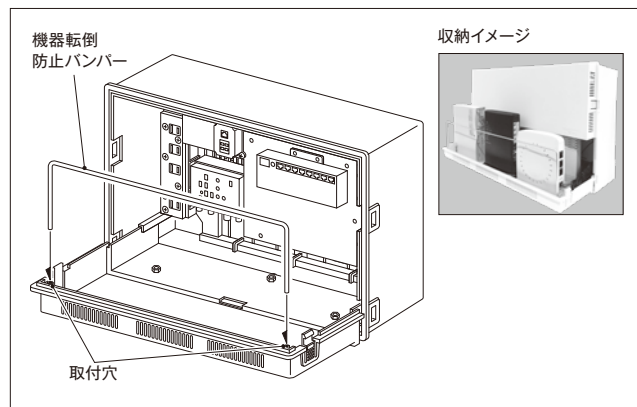
〈ボックス形態〉

付属の機器転倒防止バンパーを電源ユニット両側の取付穴に差し込みます。



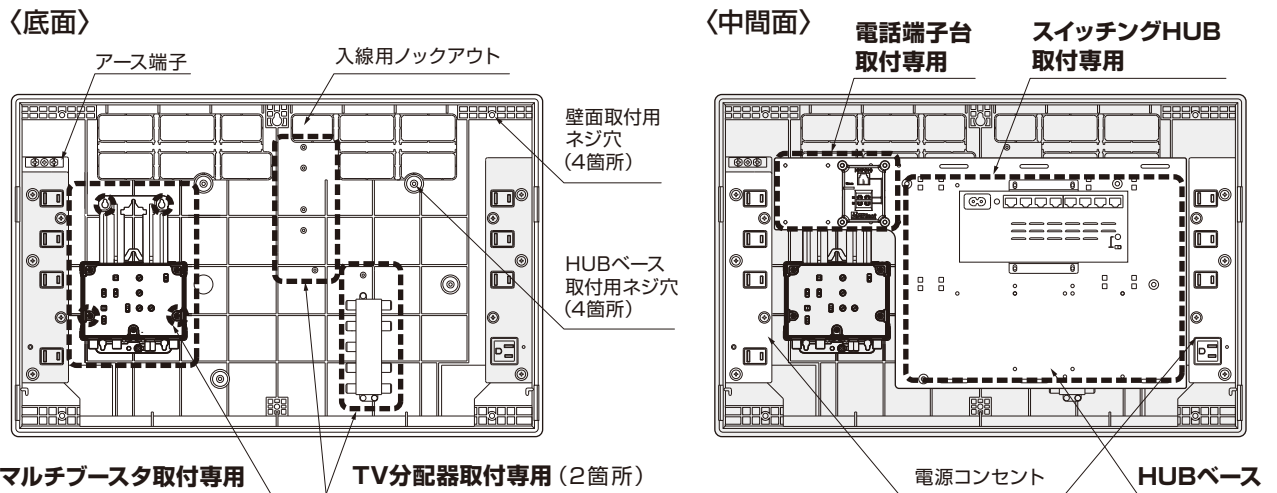
〈ベランダ形態〉

ベランダ形態で使用する場合、下カバーにある取付穴に機器転倒防止バンパーを差し込みます。



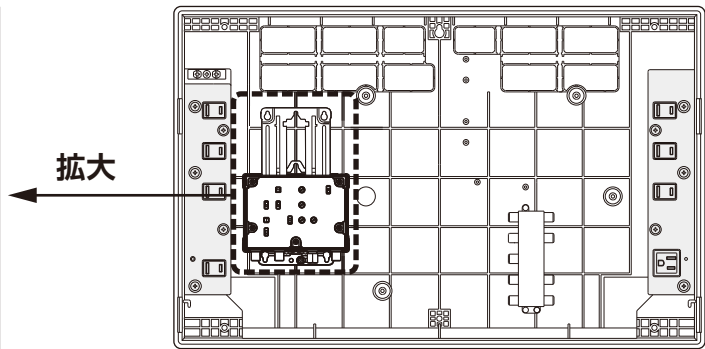
9 内蔵機器の取付方法について

各機器の取付位置



マルチブースタの取付

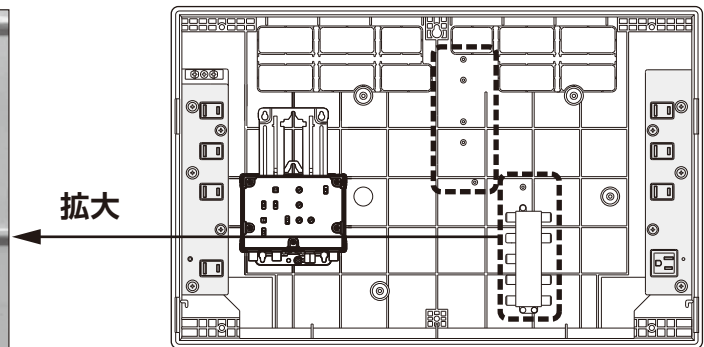
マルチブースタの取付位置は下記になります。
 情報盤の底面に取付けてください。 ※使用できるTVブースタは **baniact** 製品のみとなります。



- 上下4点の取付穴で固定します。
取付位置には「TVブースター」と記載されています。
- 使用するネジは、トラスタッピンB (+) 3-6をご使用ください。

TV分配器の取付

TV分配器の取付位置は下記になります。
 情報盤の底面に取付けてください。 ※使用できるTV分配器は **baniact** 製品のみとなります。



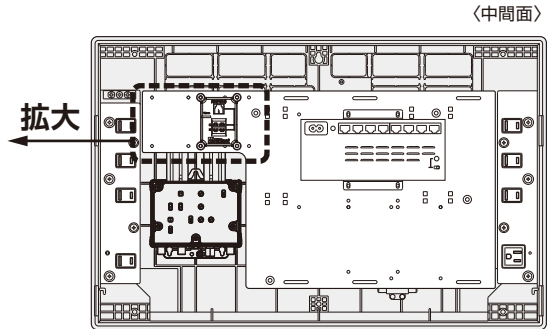
- 下部の取付穴を基点とし、2～10分配のTV分配器を取り付けることができます。
 - 取付位置は2箇所あるため、最大20分配まで設置できます。
 - 取付位置には、左記のように記載されています。
 『TV-10』 : 10分配器取付位置
 『TV-6/8』 : 6分配器または8分配器取付位置
 『TV-4』 : 4分配器取付位置
 『TV-2』 : 2分配器取付位置
- 分配器に付属するネジをご使用ください。

電話端子台の取付

電話端子台の取付位置は下記になります。情報盤のHUBベースに取り付けてください。

※使用できる電話端子台は **baniact** 製品のみとなります。

- MMP(M4)またはMMP(M8)を組み合わると、合計2個取り付けることができます。
- ネジは、トラスタッピンB(+)
4-8をご使用ください。



(中間面)

スイッチングHUBの取付・増設

スイッチングHUBの取付位置は下記になります。情報盤のHUBベースに取り付けてください。

※使用できるスイッチングHUBは **baniact** 製品のみとなります。

■対応HUBシリーズ

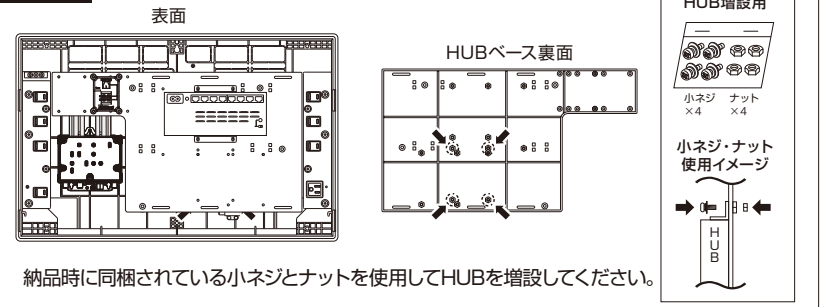
AH-08GPM / AH-14GPM /
AH-PS4-05GP

■ATF情報盤 増設可能台数

情報盤	HUB	AH-08GPM	AH-14GPM	AH-PS4-05GP
ATF-488F-00		1台		
ATF-488M-00		1台		
ATF-4148F-00		1台		増設不可
ATF-4148M-00		1台		増設不可

※上記台数にATF情報盤組込分は含まれません。
※取付パターンは裏面よりご確認ください。

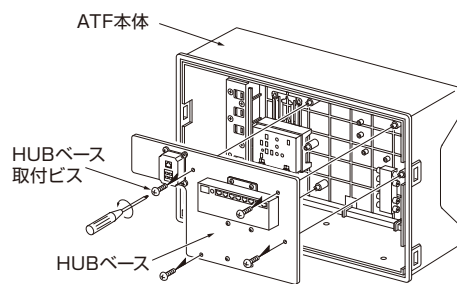
Point



納品時に同梱されている小ネジとナットを使用してHUBを増設してください。

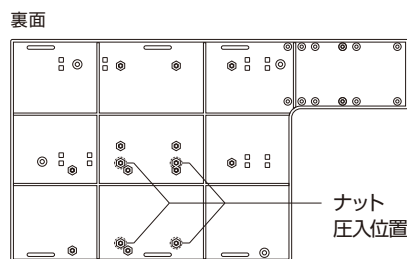
■取付方法

(AH-08GPM増設時の場合)



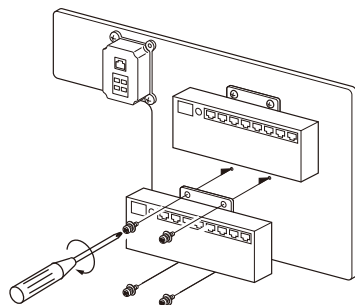
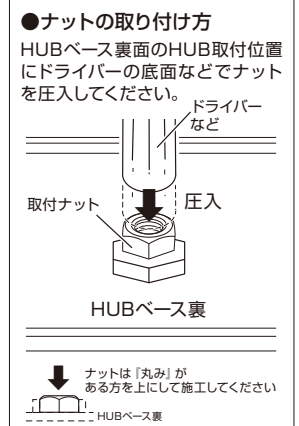
〈手順1〉

プラスドライバーでHUBベースを取り外してください。



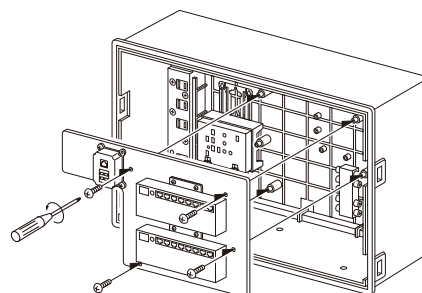
〈手順2〉

HUBベース裏面のHUB取付位置にナットを圧入してください。



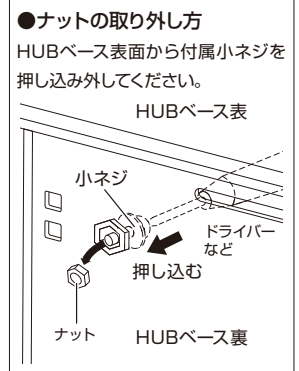
〈手順3〉

増設用HUBを取り付け、小ネジをHUBベースに対して垂直に締めます。



〈手順4〉

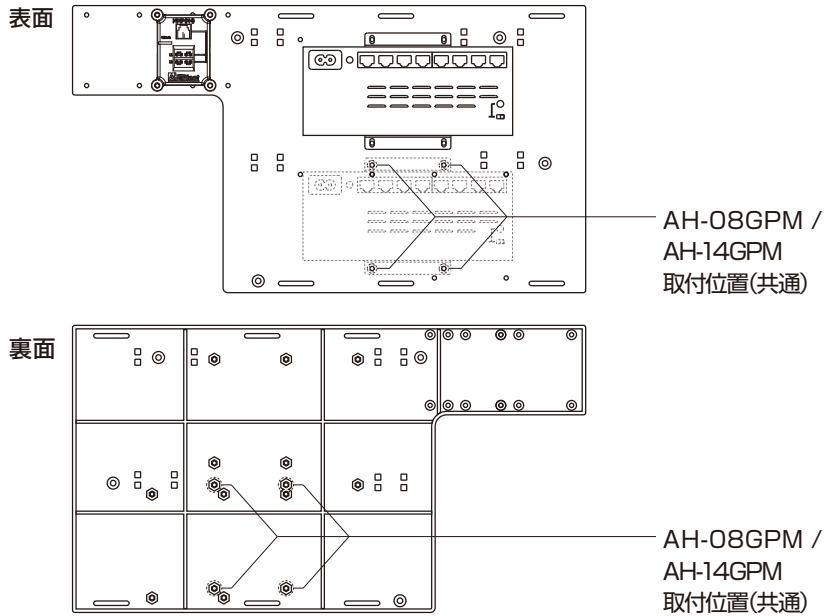
ATF本体にHUBベースを取り付けて完成です。



■取付パターン

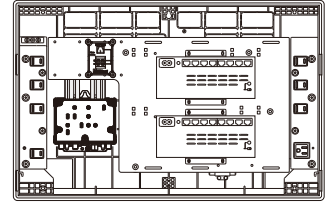
□AH-08GPM / AH-14GPM 増設用取付位置

AH-08GPM / AH-14GPMは同じ増設用穴を使用します。

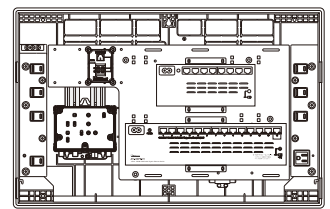


ATF-488M-00 増設イメージ

AH-08GPM

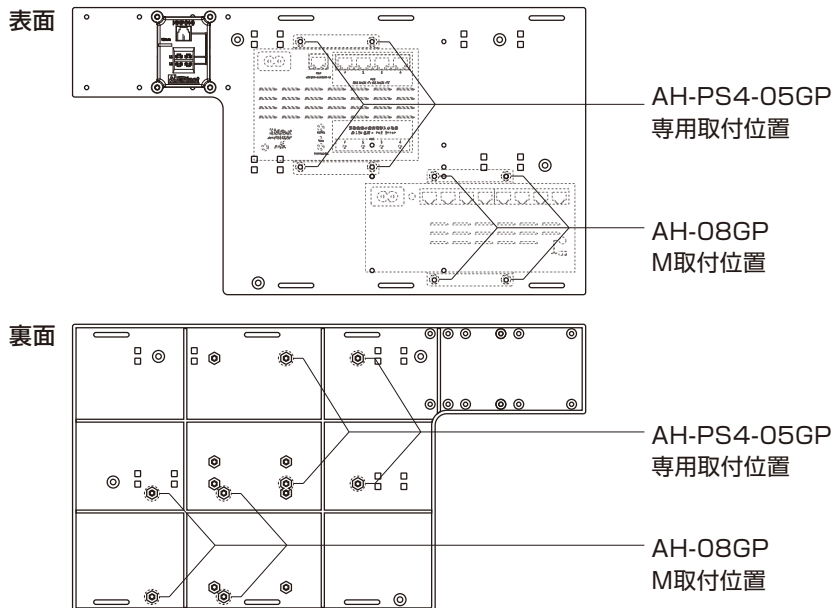


AH-14GPM



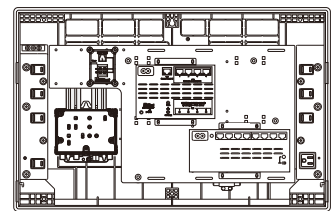
□AH-PS4-05GP 増設用取付位置

⚠ AH-PS4-05GPは、下記の通り専用の取付位置が決まっております。
そのため既設のAH-08GPMを右下へ移動させてください。



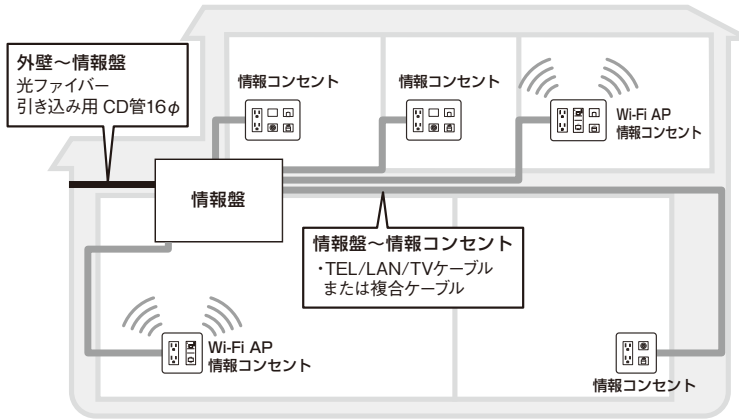
ATF-488M-00 増設イメージ

AH-PS4-05GP



1 情報配線システムについて

システム構成例



インターネット接続機器を情報盤につなぐことで、各部屋の情報コンセントでネット利用ができます。

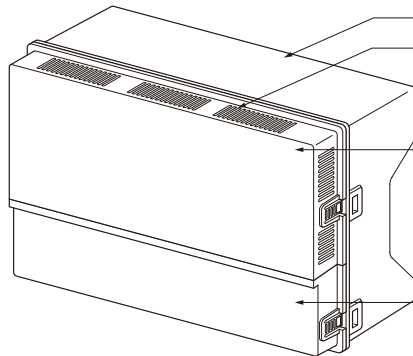
〈特長〉

1. FTTH、CATV、ADSLなど全てのブロードバンドサービス、通信業者にも対応しています。
2. 光電話（IP電話）、テレビ放送サービスを合わせたトリプルプレイにも対応しています。
3. 各部屋から、パソコン、ゲーム機、テレビ、ブルーレイレコーダなどをネット接続できます。
4. 接続は有線LANですので、確実につながり、セキュリティ面も安心してお使いいただけます。

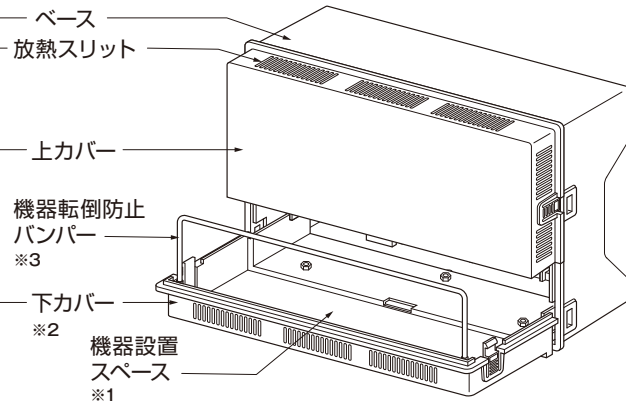
情報盤とは

ブロードバンドに対応した1000BASE-Tのインフラシステムを構築するための弱電集中BOXです。電話回線を分配、切替する電話端子台と宅内LANを構築するスイッチングハブ、及びTV系の機器（ブースターや分配器）を収容可能な住宅の制御盤です。

〈ボックス形態〉



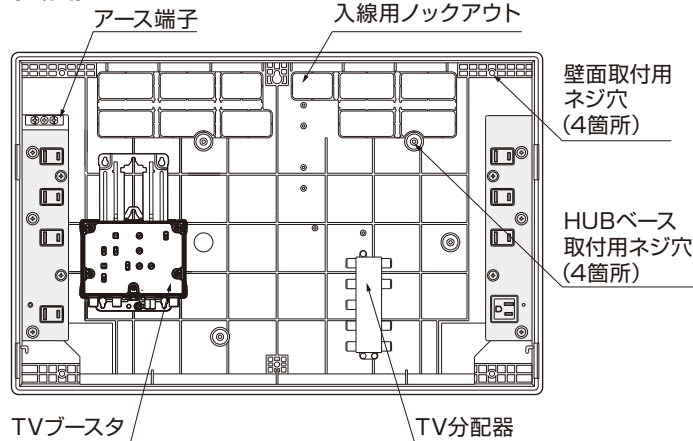
〈ベランダ形態〉



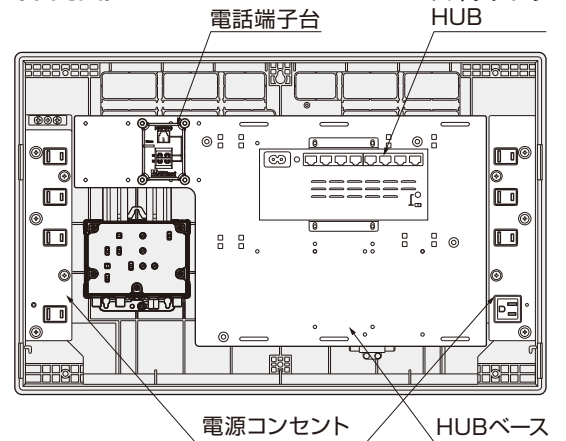
- ※1: ボックス形態の際は、機器はベース部への取り付けとなります。
- ※2: ベランダ形態の際は、下カバーを反転させてベース部に差し込んで使用します。
- ※3: ボックス形態の際は、ボックス内部に固定して使用します。

内部 ※下図の設置内容および取付位置は一例です。

〈底面〉



〈中間面〉



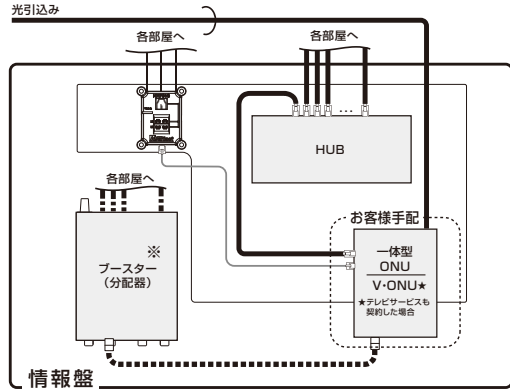
外形寸法は施工編1ページをご覧ください。

2 機器接続手順

接続手順 ※一例です。詳しくは、ご契約の通信業者様もしくは機器付属の取扱説明書を参考に接続してください。

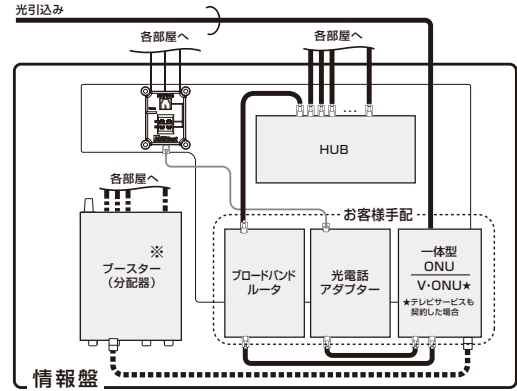
- ①ご契約の通信業者様にて、情報盤内に各回線を引き込み、モデム・ONUなどで終端します。
- ②各通信機器を所定のケーブルで接続します。

光ファイバーの場合①



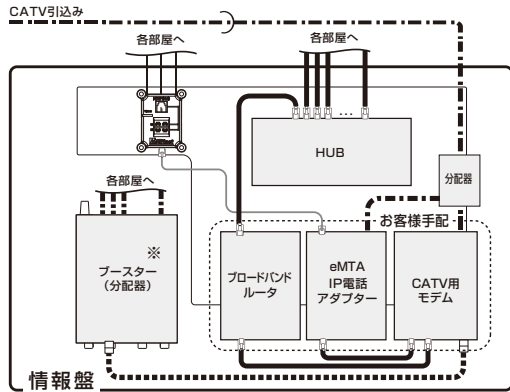
※プースター (分配器) は底面に設置されています。

光ファイバーの場合②



※プースター (分配器) は底面に設置されています。

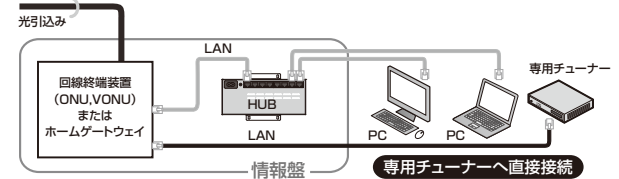
CATVの場合



※プースター (分配器) は底面に設置されています。

インターネットを利用した映像サービスの場合

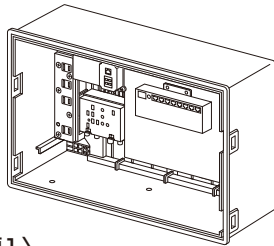
《接続イメージ》



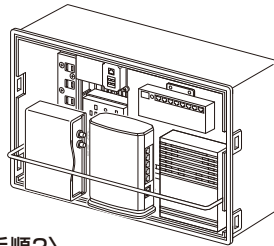
⚠ HUB 経由で専用チューナー(STB)へ LAN 配線をした場合、通信速度の低下・LAN ポートのランプがたえず点滅する可能性があります。発生した場合は、上記の通り専用チューナーの LAN 配線を変更していただくことで、正常に戻ります。

機器収容例

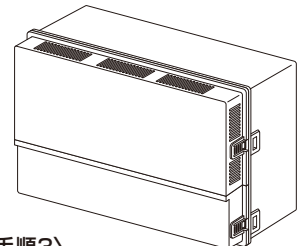
〈ボックス形態〉



〈手順1〉
カバーを開けます。

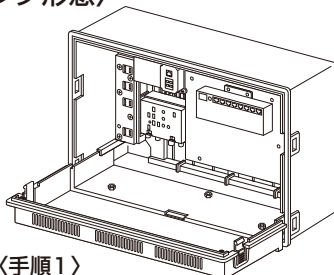


〈手順2〉
各機器を収納し、機器転倒防止バンパーを取り付けます。

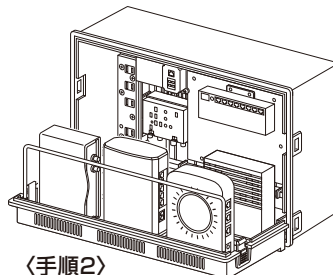


〈手順3〉
下カバーと上カバーを取り付けます。

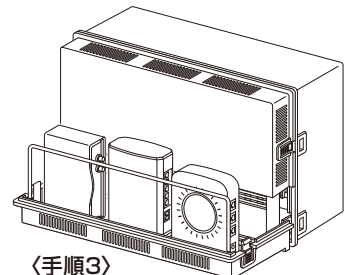
〈ベランダ形態〉



〈手順1〉
下カバーをベースに差し込んで取り付けます。



〈手順2〉
各機器を収納し、機器転倒防止バンパーを取り付けます。



〈手順3〉
上カバーを取り付けます。

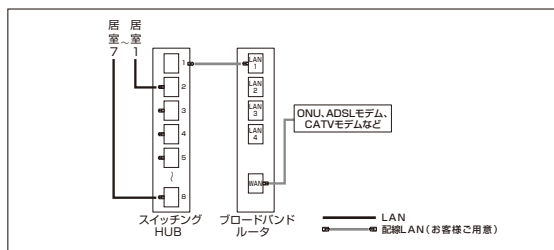
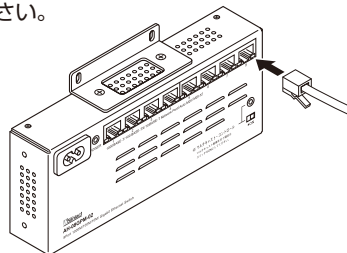
カバーの開閉方法と機器転倒防止バンパーの取付方法については施工編2ページをご覧ください。

3 接続上のご注意

LAN (ネット利用) に関するご注意

〈HUB設置タイプの場合の機器接続方法〉

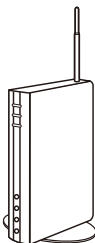
ブロードバンドルータとスイッチングHUBは下図を参考に接続してください。



〈ルータの設置について〉

本情報盤にはルータが含まれておりませんので、必要に応じて別途ご用意ください。無線LANルータを情報盤に収容した場合、電波が正しく届かない可能性があります。

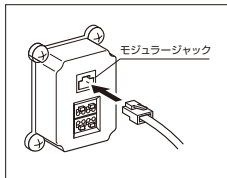
その場合、無線機器の居室内への設置、またはWi-Fi情報コンセントの設置をおすすめします。



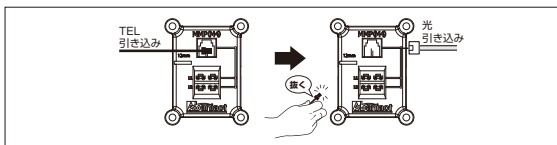
TELに関するご注意

〈マルチメディアパネルへの接続方法〉

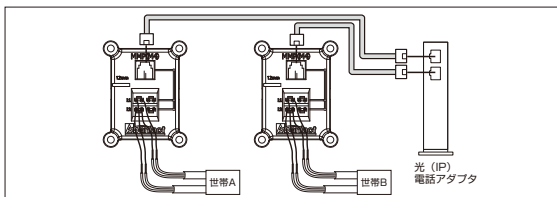
光 (IP) 電話アダプタを接続することで、各部屋で電話がつながるようになります。接続にあたっては、電話アダプタ付属のモジュラーケーブルを利用して、下図のように、上部のモジュラージャックに接続してください。



光電話などをご利用の場合は、モジュラージャックに接続されている「TEL引き込み線」を外してください。

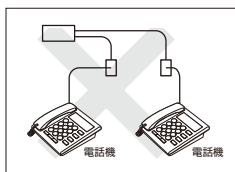


2世帯などで、電話番号を2番号利用する場合は、マルチメディアパネルを増設し、回線(番号)ごとに配線系統を分けてください。
※マルチメディアパネルの追加は、本情報盤を施工された工務店、電気工事店などを通じて購入してください。



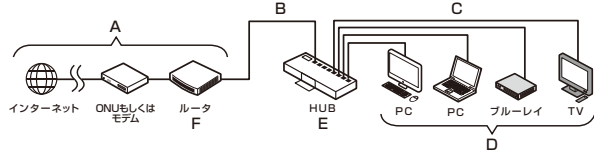
〈電話機の接続について〉

電話回線1回線(1配線)に、複数台の電話機を接続(ブランチ接続)しないでください。FAXの通信エラー、ナンバーディスプレイなどの機能に支障があり、正常に動作できなくなることがあります。



故障かな?と思ったら

LAN (情報盤搭載関連部材: HUB)

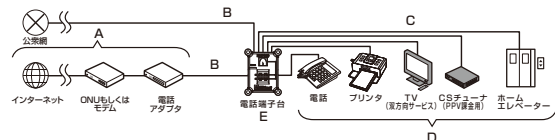


チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	インターネット回線自体に不具合が起きていませんか?回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムやルータ、HUB等に異常、接続ミスはないか	A、E	各通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※)
3 LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか	B、C	各通信機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか?LAN、ケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のLAN配線については、ハウスメーカー、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 ルータ機能、もしくは接続は正しいですか?	B、F	ルータ機能もしくは通信機器の接続は正しいですか?ルータ機能が無いと複数個所で同時にインターネットにつながりません。(※)
5 使用端末に異常はないか	D	お使いのパソコン等の機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※)

※各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様、回線業者様にお問い合わせください。上記とあわせて、Abianact Gigabit HUBの取扱説明書(AH-08GPM-02、AH-14GPM-01搭載の場合)もご参照ください。

故障かな?と思ったら

電話 (情報盤搭載関連部材: 電話端子台)



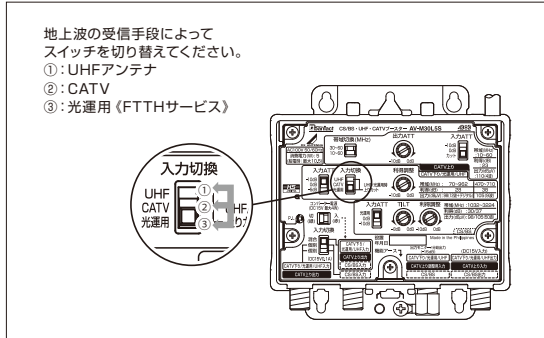
チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	電話回線もしくはインターネット回線に不具合が起きていませんか?契約内容も含めて、回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムや電話アダプタに異常、接続ミスはないか	A	通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか? (※1)
3 TEL引き込み線に異常はないか	B	外部引き込み線、もしくは電話アダプタ〜電話端子台間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか?ケーブルの抜き差しもしくは、交換をしてみてください。
4 TEL配線、モジュラージャック(電話コンセント)、モジュラーケーブルに異常はないか	C	断線や接点部の接触不良が起きていませんか?モジュラーケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のTEL配線については、ハウスメーカー、電気工事店様に点検をご依頼ください。
5 使用端末に異常はないか	D	お使いの電話機等端末機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※1)
6 電話親機を一つの電話回線に2台以上つないでいないか	D	電話親機を、一つの回線(配線)に複数台同時につないでいる(※2)と、ナンバーディスプレイやFAX、電話の呼び出し音などが正常に動かなくなります。電話親機の接続は1台だけにしてください。(プリンター、FAX専用機、チューナ等は除く)(※1)

※1・・・各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせください。
※2・・・ブランチ接続

TVに関するご注意

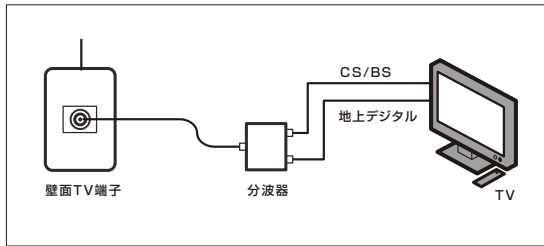
〈ブースタの設置〉

安定したTV視聴のため、ブースタの設置を推奨します。
マルチブースタの場合、UHF、CATV、光運用 (FTTH) のいずれにも対応可能です。



〈分波器の設置〉

地上波と衛星放送を混合して分配している場合、分波器を使って、TVチューナーまたはレコーダの入力端子に接続してください。



安全上のご注意

施工する前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
- 使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 警告** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性は想定されることを示しています。
- 注意** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- 禁止 (してはいけないこと) を示します。
- 強制 (必ず守ること) を示します。

警告

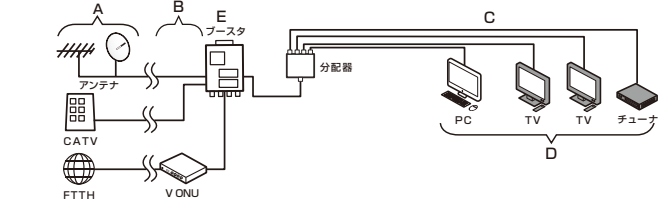
- 屋外または外壁の内壁面に設置しないでください。本製品は、屋内専用となっています。
- 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、なめたり、束ねないでください。また、重い物をおかけしたり、はさみこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の場合に感電する可能性があります。
- 交流100Vで使用してください。過電圧を加えると過熱し、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。本製品の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- 電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続をしないでください。感電の原因になる可能性があります。
- 本製品を壁面に確実に取り付けてください。天井面や上下逆さ、傾ける等の不安定な状態で取り付けられた場合、本製品の脱落によって生じる怪我や故障の原因となる可能性があります。
- 低圧室内配線と弱電流配線が接触しないよう配線を行ってください。
- 結露する場合は、電線を端子の裏まで確実に差し込んでください。

注意

- 以下の場所に設置しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 暖房器具などの近くなど高温になる場所
 - 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気の多い場所
 - 振動の大きい場所
 - 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
 - ほこりの多い場所やゆづらん等の保温性、保湿度の強い場所
 - 腐食性ガスの発生する場所
 - 強い磁気や電磁波が発生する装置がある場所
 - 壁の中などお手入れが困難な場所
 - 住宅以外の屋内設備 (本製品は家庭環境における使用を想定しています)
- 本製品や内部機器が損傷することによって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。

故障かな?と思ったら

TV (情報盤搭載関連部材: マルチブースタ、分配器)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 アンテナ、CATVもしくはFTTH (光) 回線に異常はないか	A	各種、TV放送の受信状況に不具合が起きていませんか? アンテナ受信の場合: アンテナの向きがおかしい、混合器の不具合、付近の建物環境の変化等からくる受信障害、など。CATV、FTTHの場合: 局側の放送障害、VONU、チューナー等の不具合等。詳細は、各放送業者様もしくはTV工事業者様にお問い合わせください。
2 同軸 (TV) 引き込み線に異常はないか	B	アンテナ、CATVからの引き込み線、もしくはVONU~ブースタ (分配器) 間の接続ケーブルに断線や接続部の接触不良が起きていませんか? TV工事業者様に点検をご依頼ください。
3 同軸配線、TVコンセント、同軸ケーブルに異常はないか	C	ブースター~分配器~各端末機器間で断線や接続部の接触不良が起きていませんか? TVケーブルの抜き差しもしくは交換をしてみてください。壁内の同軸配線については、ハウスメーカー様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 使用端末に異常はないか	D	最近設定変更をして調子がおかしいなど。お使いのTV等の機器に不具合が起きていませんか? 各機器付属のマニュアルをご参照しながら、機器メーカー様にお問い合わせください。
5 ブースタの接続・設定・調整は正しくなされているか	E	各引き込み線とブースタの接続手順に誤りや、各種スイッチ設定、出力値のつまみ調整が正しくない場合、「映らない」「ノイズが混じる」といった現象が起こります。詳細は、各放送業者様もしくはTV工事業者様にお問い合わせください。

上記とあわせて、マルチブースタの取扱説明書、簡単・接続/設定ガイド (AV-M30LS5搭載の場合) もご参照ください。

施工編

取扱編

製品保証書

製品名/型式	アビエレクト情報盤 /		製造番号	
ご購入日	年	月	日	保証期間
				ご購入日より 1年間
お客様	フリガナ お名前	様		
	ご住所 〒 -			
販売店/工務店/電気施工店	店名/住所 〒 -	電話番号 () -		
		電話番号 () -		

【保証規定】 ※必ずお読みください。

- 第1条 (保証内容)
- 当社は、お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に本製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償により修理または取り替え (以下、「修理等」といいます) を行います。
- 第2条 (保証手続)
1. 保証期間内に本製品が故障して修理等を受ける場合、
 ①本製品が取付け対象とならないときは、本製品および本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
 ②本製品が取付け対象となるときは、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理等に際して本書をご提示ください。
2. 持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、当社が出張により修理等を行った場合には、出張費用はお客様の負担となります。
3. 本製品を取り替えた場合には、回収した本製品の所有権は当社に帰属致します。
- 第3条 (先買)
1. 以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は本製品に関して保証責任を負いません。この場合、有料対応となります。
 ①使用上の誤り及び不当な修理又は改造による故障及び損傷
 ②お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
 ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、雷害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
 ④本製品の設置工事の不良によって生じた故障及び損傷
 ⑤お客様により本製品の分解・改造・補修・付属品取付け等が行われた場合
- ⑥本製品の通常の自然消耗・変色等専ら材料の自然特性または経年変化による場合
 ⑦本製品に接続された機器・部材・ソフトウェア等に起因する場合
 ⑧本書のご提示がない場合
 ⑨本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が記入されていない場合
- 第4条 (その他)
1. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.
 2. 本書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
 3. ご転居の場合には、事前にお買い上げの販売店または当社までご相談ください。
 4. ご贈答品等でお買い上げの販売店で修理等をご依頼されない場合は、当社までご相談ください。
 5. 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて修理等をお約束するものです。従って、本書によって当社及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社までお問い合わせください。
 6. お客様にご記入頂いた個人情報、保証期間中のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

(ES03 第3版)



因幡電機産業株式会社
産機カンパニー ハウジング統括部

お問い合わせ先

- WEB入力フォーム
<https://www.inaba.co.jp/contact/abaniact/#8>
- コールセンター
 **0120-390-833**